

JID

NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1983 11.12

JID25周年記念展(JID'83展) 閉 幕

58.11.21～25 東京晴海にて、創立記念展が開かれた。既報のように、これは '83東京国際家具見本市参加エキジビションとして、同見本市の3号館に展開したもので、入場者総数(80,234人)に比例し、JID '83 展への参観者数もまた期待通りの数字(13,734人)になった。本当に喜ばしいことである。参観者は若干若い世代の人々が多いようであるが、各年代、各職業に亘っており、当然のことながら外国の人々の参観も目立った。

日頃のインテリアデザイナーの活動、JIDとしてのPR効果は大きいものがあつたようだ。会期中、22、23日両日は隣接のレセプションルームで、JID主催の下記セミナーも開催され、こちらも両日で延334人の熱心な聴衆がパネリストのディスカッションに耳を傾けた。

詳細は機関誌「インテリアデザイン」98号に掲載されますので、概況の速報のみにとどめます。それにしても実行委員会の委員の方々の精力的な活動の結果ゆえの実現と、心からの敬意を表したいと思います。

☐記念展の実施概要と参観者など

- ①名称 '83東京国際家具見本市参加エキジビション
創立25周年記念展(略称 JID'83展)
- ②総合テーマ「振る舞いのインテリア」
- ③会期 58.11.21～25
- ④会場 東京国際見本市会場(東京都中央区晴海)
- ⑤規模 144㎡(43.64坪)

目 次

●JID25周年記念展(JID'83展)閉幕	1
●JID25周年記念展パーティ	2
●昭和59-60年度役員選挙の開票終る	3
●58・第3回理事会議事録	4
●各支部で創立25周年記念事業を開催	7
●昭和58年度ブロック別デザイン会議	9
●資格試験は3月18日に	11
●「I.F.Iハンブルグ会議報告の集い」	11
●“コンピューター体験セミナー〔PART-I〕”報告	12
●肥田武さんに黄綬褒章	14
●会員の消息	15
●事務局短信	20

⑥展示構成・第1ゾーン（パネル展示9枚）

J I D の沿革

・第2ゾーン（パート1—パネル展示 91枚）

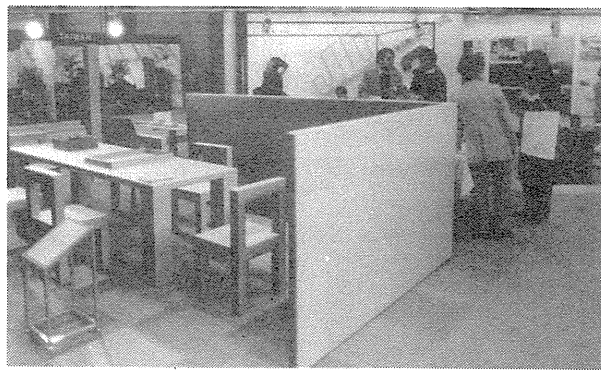
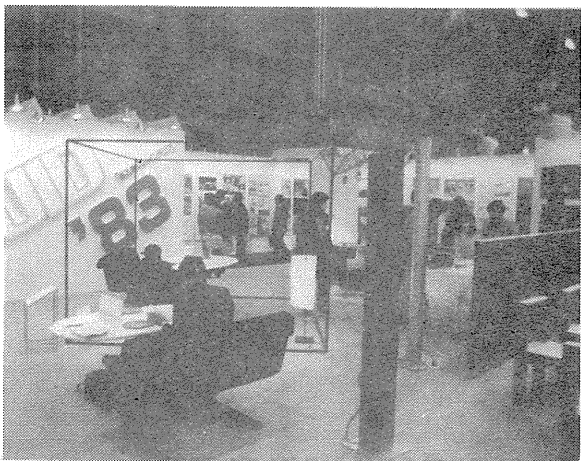
（パート2—現物展示3ブース）

⑦協賛企業・学校 37

⑧入場参観者延数 13,734人

⑨セミナー「これからのライフスタイルをめざして」

入場聴講者延数 334人



JID25周年記念展パーティ

記念展第2日目の11月22日、記念展パーティが賑やかに開かれた。以下簡単にその模様をお伝えいたします。

会は定例より15分過ぎ、午後6時45分より始まった。進行司会は森谷理事。オープニングの挨拶ののち、創立25年を迎えた協会の主な事業、沿革など、エピソードも混えながら、その歴史をたどった解説から始まった。

三輪理事長は列席の皆様に、「今回の記念展へのご支援と併せ、日頃協会に寄せられるご理解、ご協力に深く感謝申し上げる主旨の謝辞とともに今後の協会のたゆまざる発展にもよろしくご支援願いたい」と結んだ。

続いて、記念展につき後援を賜った通商産業省からは、安喰茂通産事務官が、同じくまた、建設省から春川真一建設事務官がそれぞれ行政の立場から祝辞を述べられた。次に友好団体の一つ、日本デザイン団体協議会を代表して、平松保城日本クラフトデザイン協会理事長がお祝いの言葉を述べられた。

豊口克平名誉理事が起ち、協会設立発起人を代表して、設立時の標榜したテーマから、現在の、デザイナーの直面している諸問題、そしてこれからの課題等先達としての希望を吐露された後、乾杯となった。





この後歓談に入り、懐しい顔顔々の正会員、日頃種々ご協力いただいている賛助会員会社のご担当者など、会場は一層和やかな雰囲気になって行った。暖かい料理の季節、皆様の飲みっぷり、喰べっぷりにもほほえましい光景があちこちで見られた。

会も半ば、協賛11団体を代表して小菅一郎国際家具産業振興会々長がスケジュールを縫って出席、短かいながらも暖かいスピーチをいただいた。同振興会は本年の'83東京国際家具見本市の主催団体であり、見本市の成功とJ I Dの記念展の成功とは表裏一体のものなので、その点立派な展示会としての成果を心から期待したいというものであった。

歓談の輪が広がるにつれ、アルコール消費量も増え、時間一杯の8時30分になって中川理事による手酌が行われ掉尾を飾った。そして記念展の成功と、参会者各位の益々のご発展をお祈りして閉会となった。末章で失礼と思いますが、お忙しい中を当日ご列席、ご出席の方々に御礼を申し上げ、ご報告といたします。(実行委員会事務局 山品元)

昭和59-60年度役員選挙の開票終る

選挙管理委員長 工藤広忠

昭和58年11月18日午後1時30分から、事務局において選挙管理委員会を開催し、上記の開票をおこなった。その概況は次のとおりです。(敬称略)

1. 選挙管理委員会の成立

出席者 工藤広忠、宮島恵美子、脇田正彦、伊藤公子、朝妻昭子 以上5名

委任状 伊集院 俊、後藤康男、坂山正一、馬場 敏 以上4名。

2. 投票状況

投票用紙発送数 396通

投票数 204通(投票率 52%)

無効投票 理事1通、監事2通 計 3票

3. 開票の結果(得票順)

A 理事(定数15名)

関東(定数10名)

当選 三輪正弘 109票

〃 山品元 88

〃 中村圭介 84

〃 泉修二 72

〃 白石勝彦 64

〃 渡辺優 64

〃 わたなべひろこ 59

〃 島崎信 58

〃 中田重克 45

〃 川上信二 44

次点 大野美代子 44

注 川上信二氏と大野美代子氏については選挙規定第8条第2項によって、川上氏を当選とし、大野氏を次点とした。

関西（定数3名）

当選 川崎 浩 79票
" 樋口 治 43"
" 富田 卓司 40"
次点 山内 陸平 36"

九州（定数1名）

当選 中川 千年 61票
次点 溝口 新 6"

中部（定数1名）

当選 宇賀 敏夫 47票
次点 林 寅正 45"

B 監事（定数2名）

関東（定数1名）

当選 渡辺 力 48票
次点 山口 勇次郎 15"

大阪・九州・中部（1名）

当選 岡村 実 16票
次点 柏原 秀夫 2"

注 柏原秀夫氏（2票）と得票が同数の方々は南原七郎、安永一典、山内陸平、小松曉一の諸氏であったが、この場合も選挙規定第8条第2項によって、柏原氏を次点とした。

4. 一言（お願い）

A 当協会の定款第16条第5項によって、事務局長は監事を兼ねることができないことになっているので、事務局長を監事に投票しないようにお願いします。

B 投票にあたっては、選挙規定第8条に定められた各事業支部別の定数を尊重するようお願いします。

C 投票用紙に指定された投票の記号は正確にお守り下さい。（下例）

①

②

D 棄権のないよう、ただの1人だけでも選ぶように、おつとめ下さい。

次回を期待しています。

5. ご参考までに、得票数10票以上の方は次のとおりです。
今回の選挙の参考にもなると思います。（ ）内は得票数です。

A 理事

関東 榎田 均（39） 松本 哲夫（38）
光藤 俊夫（32） 田辺 麗子（20）
渥美 孝道（19） 川上 玲子（18）
今崎 務（17） 北原 進（15）
矢吹 宏（14） 山口勇次郎、秋山修治、小原二郎、坂田種男、原好輝（各13）、内堀繁生、西沢圭三（各12）、吉良ヒロノブ（11）、山岸征史（10）

関西 喜多 俊之（27） 福岡喜久男（24）
安永 忠生（22） 藤川 宏允（16）
新居 猛（10）

中部 若園 晃（11）

B 監事

関東 榎田 均（10）

なお、開票当日ご多用中ご出席いただいた委員諸兄姉に改めて誌上を借りてお礼申し上げます。

58・第3回理事会議事録

日時 昭和58年11月4日（金）11:00 AM～2:00 PM

場所 財大阪デザインセンター3階会議室

出席者 三輪理事長、泉副理事長

理事 川崎 浩、島崎 信、富田卓司、樋口 治、森谷延周、川上信二、山品 元、渡辺 優、中村圭介、尾上孝一、宇賀 敏夫

委任状 中川千年、垂見健三

監事 岡村 実 （順不同）

はじめに議事につき三輪理事長より説明あり。泉副理事長補佐にて審議に入る。

I 報告事項

(1) 協賛関係（10件）

- ④ 「コンピューター・グラフィックスによる表現の世界」

シンポジウム 58.10.12～13 東京
展覧会 58.10.11～21 〃

主催：日本グラフィックデザイナー協会

- ⑤ 「国際デザインシンポジウム '83東京」

< 58.10.12 東京 >

主催：(財)日本産業デザイン振興会

- ⑥ 「第1回国際デザインフェスティバル」

< 58.10.7～11.9 大阪 >

主催：(財)国際デザイン交流協会

- ⑦ 「第16回大阪国際見本市特別展

'84 トータルハウジングフェア」

< 59.4.21～30 大阪 >

主催：トータルハウジングフェア運営会

(財)大阪住宅センター、(財)大阪デザインセンター

- ⑧ 「第7回大阪産業デザインコンテスト」

< 58.10.～59.2 発表、大阪 >

主催：大阪産業デザインコンテスト運営委員会

- ⑨ 「ヨコハマファッションウィーク

'83 国際デザイン会議」

< 58.10.22 横浜 >

主催：横浜ファッション協会、神奈川デザイン協会

- ⑩ 「セミナー、現代建築と空間造形」

< 58.11.7 東京 >

主催：朝日新聞社大阪事業開発室

- ⑪ 「ジャパンテックス '84」

(第2回日本インテリアファブリックス共同展示会)

< 59.1. 東京 >

主催：日本インテリアファブリックス懇話会

- ⑫ 「SHOP '84関西総合店舗ショー」

< 59.7.20～24 大阪 >

主催：日本経済新聞社大阪本社

- ⑬ 「'84国際ホテル・レストラン・ショーならびに

'84ホテル・旅館・レストランシンポジウム」

< 59.3.12～16 東京 >

主催：(財)日本能率協会

(2) 短期借入金返済について

57・第7回理事会で決定された短期借入金(太陽神戸青山支店より200万円借入)は予定通り5月～10月の6回払いで、去る10月31日完済した。

(3) 中部支部事務委託費改定について

58・第2回理事会で審議され、改訂金額については事務局長に一任となっていた件について、事務委託先の(財)生活用品振興センターと折衝の結果、次のようになり、去る9月6日覚書を交換した。

- 年額200,000円(前期・後期2回の分割払い)
- 実施は58年下期より。

(4) 「インテリアデザインの業務および報酬基準」改訂完成

報酬基準特別委員会(中村圭介委員長)で作業を進めていた改訂版が完成した。近日中に正会員に発送される。同時に賛助会員、名誉会員、準会員にもサンプルとして配布の予定。

(5) 財政状況

一般会計では会費納入状況が前年同期を下廻っており、正会員を中心に督促を進めている。このまま推移すれば期末にかけて大事に到るので、早急に対処したい。

また、創立25周年記念事業の方は出品申込金が現在約40%ほど納入されてはいるが、会期も目前なので、督促を強めたい。以上事務局長より報告、了承された。

(6) I F I ハンブルグ会議報告会

11月1日(火)、渉外委員会(大野美代子委員長)により本年5月ハンブルグ市で行われた同会議の報告会が東京で開かれた。その際、折から来日中のI F I 新会長B.VINICK(米)氏の出席も得られ報告会は盛況であった。また、同会長の挨拶の中に、「次回総会(1985年5月の予定)は地中海クルーズを折込んだユニークな会議にしたいと今から計画中なので、日本からも多数のデザイナーが参加されるよう希望する」とあった。

以上、三輪理事長より報告。詳細は機関誌98号にて報告の見込。

Ⅱ. 議題

1. 創立25周年記念展について

記念展計画の進行状況報告が、主に泉副理事長によりなされた。

- パネル出品申込状況は、委員会サイドで把握している数字としては、展示計画枠100枚に対し現在88パネルである。

別に関西事業支部会員より14パネルの線を擱んでいる。

- 会期が迫っているので、申込数を確定したい。大方のご協力をお願いしたい。展示計画枠を下廻った場合の対策案としては委員の出品増を検討中である。

• 第1ゾーン（協会関係）

予算との関係と、資料収集状況を勘案し当初考えていた展示計画を修正した。

大阪デザインフェスティバルに用意されたJ I D関係資料を十分活用したい。この項は担当の森谷理事から報告された。また、理事会にJ I Dポスター（JAGDAに制作を依頼、デザインは5団体に共通のもの）が掲示され、作成までの経緯が同時に説明された。

- 祝賀パーティについては、細部のツメを事務局が行っている。招待先、会員への案内状の段階である。
- 感謝状贈呈の件につき、泉副理事長より提案あり。創立25年という節目でもあり、協会設立以来の在籍会員に感謝状を贈呈し、その功労に報いてはどうか。というのが主旨である。

これについて島崎、川崎、渡辺各理事をはじめその他の理事からもそれぞれ意見が出された。その結果、対象者総数、日程、30周年時期での検討などを含め、今回は見送ることとなった。

- 記念展（東京晴海 58. 11. 21～25）以降の予定について。

現在、ミサワホーム㈱との打合せを進めているが、現時点での可能性は、12月中は東京ミサワホームショールーム展示（担当予定：関東事業支部）、59年1月中は大阪ミサワホームショールーム展示（担当予定：関西事業支部）の線が強い。従って出品物の返却はその後になる見込。

- 創立25周年記念展修正予算(案)について。

実行委員会事務局（山品事務局長）より、10月21日付の修正予算(案)が提出された。修正(案)の狙いは、事業の進捗に伴ない、その事業内容に変更が行なわれたことによるものである。この結果、収支ともに、一般経常予算書の中に織りこまれている総額400万円の数字に、より近いものになり、一般状況とも睨み合わせ、413万円とした。

理事会はこれを受けて審議の結果、承認。

- 協賛金について。

先に豊口名誉理事から協賛金の申出があった。現在、財務分科会（山品元委員長）を中心に協賛金の確保に全力を挙げているものの、予断を許さないので、理事各位に見込企業の情報、紹介等一層のご協力をお願いしたい。以上事務局長より要請された。

2. 年鑑出版事業の推進について

「日本のインテリアデザイン — しつらいの創造」の作品募集および要項資料の決定、配布までの経過説明が三輪理事長、尾上理事よりそれぞれ行われ、山品事務局長からも若干の補足が加えられた。その骨子は、

要項作成、配布にあたり、一部表現語句の訂正の意見が役員の中にあり、日程上の制約から、とりあえず9月19日在京役員有志で検討の会を持ち、対策(案)を決定、出版特別委員会（永原浄委員長）との調整を経て要項の語句訂正を行いたいというものである。

訂正個所の説明が資料により逐條行われた。理事会として討議の結果、

- 訂正は適当である。
- 外部（企業、出版社等々）と連携の事業を行うための特別委員会は、通常委員会とは性格を異にする部分があることを確認した上で理事会としても事業の進捗状況を把握する。
- 協会賞、年鑑等既存の事業の確認と、今後の展開についても継続的かつ慎重に検討を行うこととする。
- 今回の確認事項を委員会に伝え、事業の推進に資する。

以上4項目を確認した。

尚、一般会員への周知もJ I D NEWS等を通じて随時行ってゆくことが了承された。

3. トータルインテリアキャンペーン協賛金

加入団体である(社)インテリア産業協会では59年3月～4月にトータルインテリアショウをはじめ全国規模でキャンペーン事業を行う。それに際して協賛金10万円が要請されている。詳細内容について事務局長より報告説明がなされ、理事会は多端の折ながら友好団体の事業への積極的協力という観点で、予備金費目よりの支出やむなしとし、これを承認した。

4. 準会員対策について

先回、先々回よりの懸案事項であった準会員の未収金を含む問題に対し、総務委員会(山口勇次郎委員長)より、第2回目の委員会(9/22)答申がなされた。それは「組織特別委員会(仮称)を作り、検討を加えるのが至当」というもの。

これを理事会として討議の結果、事務局にて叩き台を作成、理事会に提出することとなる。

5. 情報活動検討委員会

前理事会で決定、発足した同委員会の活動について討議を行う。これは、いうなれば短期の諮問委員会として活動し、理事会に諮問を行うまで、ということが確認された。とりあえず次回理事会には第1回の諮問案をまとめたい。渡辺理事を幹事役に、泉副理事長、中村、川崎、樋口の各理事が協力する形で進めることで、理事会はこれを了承した。

6. 入退会関係

・入会

氏 名	種 別	推 薦 者
宇佐見 伶 子	正 会 員	福田 友美・森谷 延周
北 市 信 雄	"	小松 暁一・石田 忠昭
斉 藤 義 男	"	" "
村 上 章 彦	"	" "
田 中 政 明	"	中田 重克・尾関 文夫
村 上 太佳子	"	佐々木恵子・川崎 浩
池 上 俊 郎	"	山口 道夫・川崎 浩
阿 藤 真美子	準 会 員	島崎 信
		紹 介 者
日本ヒューガ・カーペット(株)	賛助会員	海老沢 宏
(株)ヤシマ製作所	"	"
福 山 建 設(株)	"	福岡喜久雄

・退会

氏 名	種 別	備 考
松 田 寿美夫	正 会 員	(関西支部)

以上12件につき資料に基づき審議の結果いずれも承認された。

次回理事会は12月22日(木)の予定

(以 上)

各支部で創立25周年記念事業を開催

関東事業支部

東京晴海でのJID'83展の巡回展とも云うべき、「振る舞いのインテリア展」を下記で開催。

月日 58.12.1～26 (9:00～19:00 PM)

場所 ミサワインテリアギャラリー24

東京新宿NSビル16階

関西事業支部

④ 国際デザインフェスティバル協賛も兼ねて、正会員3人の「インテリアエレメント連続展」を下記で開催

月日 ① 並川拓史 (ファニチャー・プロダクト)

58.10.20～25

② 伊吹 弘 (合板による和風家具)

58.10.27～11.1

③ 中村隆一 (紙の椅子)

58.11.3～8

場所 永大インテリアプラザギャラリー

大阪駅前第1ビル12階

⑤ インテリアデザインセミナー

月日 58.10.21 6:00～8:30 PM

場所 大阪デザインセンター3階 研修室

講師と演題

①「未来を志向する都市型百貨店のマーチャンダイジング」

大丸・梅田店営業推進部課長 奥田 務氏

②「マーチャンダイズ・プレゼンテーションのための商空間づくり」

大丸・梅田店宣伝部技術課長 丹原善弘氏

◎ JID'83展の大阪巡回展とも云える「振る舞いのインテリア展」を現在企画進行中である。

月日 59.1.16～2.10(予定)

場所 ミサワインテリアギャラリー大阪(予定)

九州事業支部

目的 社団法人日本インテリアデザイナー協会は創立25周年を迎える事が出来ました(九州事業支部発足は18年)

これを記念して、地域における生活文化の向上を図る上から講演会を開催し地方公共団体をはじめ、広くユーザーならびに関連のインテリアデザイン産業界に対しより深い理解を得ると共にインテリア及建築等を勉強されている学生諸君の励ましの糧となることを目的とする。

名称 (社)日本インテリアデザイナー協会

25周年記念講演会

期日 昭和58年11月26日(土) PM14:00～17:00

会場 都久志会館4F大会議室

福岡市中央区天神4丁目8-10

講師 葉 祥栄氏(建築家、1980年日本インテリアデザイナー協会賞受賞)

中村雄三氏(西日本工業大学建築学科教授、工学博士)

主旨 70年代は限り無き発展をとげ、高度の技術革新と情報化社会の中、高度の人間性を要求されるまま新しい物にのみ捉われて来た嫌いがあります。

低成長時代といわれる今こそ、われわれの生活を原点から見つめ直し、人間生活に要求される社会環境、住空間をこの機会に再点検する必要があり、われわれインテリアデザイナーとしても重要な使命を感じます。

皆様と共に考えよりよい地域での環境作りに努力したいと思います。

(事務局)

8月25日(木)、朝から雨である。昨年の有田陶磁文化館見学時の大雨を思い出しながら新幹線で博多から小倉へ向う。日向からの参加者は車で直接松本邸に行くとの事でわれわれも見学先に向う。

松本邸の1階ロビー(132㎡)にてくつろぎながら待つこと数分、参加予定の10名が揃った処で、松本邸監理者の渡辺様の案内で館内の見学に入る。

重要文化財旧松本家住宅(4棟)一般には未公開。松本邸は明治工業専門学校(現北九州工業大学)の創立者であり、九州産業界の元老であった松本健次郎氏の旧邸で、明治42年着工、44年に竣工したものである。

特に洋館はわが国建築界の先駆者である故辰野金吾博士の設計監理によるもので、様式は英国風ハーフ・ティンバーで、1階外壁は木部を見せず漆喰の真壁になっている。松林に囲まれた閑静なたたずまいの中に絵のように浮き出た明治建築である。

内部の造作はクラシック調で、アール・ヌーボーの流動的な曲線が随所に用いられ、華麗な中にも何となく柔らかい雰囲気をかもし出していた。洋館内には大壁掛やステンドグラスをはじめ、家具調度品の殆どが当時のもので格調高いものが揃っている。

ベランダからの眺めは金比羅山を背景とした広大な庭園がひらけ、雨に洗われた樹の葉が生き生きとして全体の美しさを一層引き立てていた。

日本館は入母屋書院造りで座敷からの日本庭園の眺めは美事なもので暫しみとれる。工業地帯の街中にこの様な立派な庭があるのが何か不思議さを感じさせた。

1時間半近くの間丁寧なる説明を聞き感謝しながら、季節を変えて再度訪問したいものだと思いつつ松本邸を後にする。

雨もいつの間にか上がる。近くの一枝クラブでビールで喉を潤しながらの懇談と昼食。

折角の機会でもあるからと、北九州市立美術館見学をすることになる。超近代的な建築物が響灘を望む小高い丘に聳えている。特に空中に浮かんだような二本の直方体の筒が印象的である。1974年九州出身の磯崎新氏設計によるものである。

建物についてはいろいろな雑誌等で紹介されているので割愛する。とにかく新旧の建築物を一日にして見学する機

明治建築と現代建築みて歩き

—九州事業支部—

会が出来たことに感謝しながら美術館前で解散し帰路につく。



(九州事業支部 溝口 新)

昭和58年度ブロック別デザイン会議 出席報告

九州・沖縄ブロック

58年度ブロック会議に出席いたしましたので、会議概要をご報告いたします。

日時 昭和58年11月4日(14:30～17:00)

場所 福岡通商産業局

1. あいさつ

福岡通商産業局 岡田商工部長

2. 昭和58年度デザイン振興施策の概要について通商産業

省貿易局デザイン課 洲村総括班長

(1) デザインの振興行政について。

(2) デザインの啓蒙と普及

(3) 地方産業に対するデザイン開発指導

(4) デザインの保全

(5) 国際交流

以上5項目について要点のみ説明があり、その後、特に第1回国際デザイン・フェスティバル(大阪)については、国際デザイン・コンペティション入賞作品についての説明がなされた。

3. 県・市におけるデザイン振興事業の現状について

福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県の各県担当主管課、工業試験場デザイン担当職員より地方工芸産業振興施策の概要説明がなされた。特に沖縄県が立派な印刷物を配布され懇切な気く

ばりを感じた。各県2～3分での説明なので、各県簡単な資料が必要ではなかろうか。

4. デザイン関係団体からの報告

5. 講演

『地方産業とデザイン開発』

(財)日本産業デザイン振興会

常務理事 来栖 義郎

講演の内容は

昭和50年度より新事業として開始された地方産業デザイン開発推進事業の参加した機関から、成果事例を具体的に説明があり、また地場産業がかかえているデザイン開発の問題点、対策、流通の問題、変化への対応策などについての講話であった。

6. 懇親会の開催

希望者のみ地下食堂にて約2時間程度の懇親会がもたれた。

(雑感)

各関係の事業説明に時間をとられるため、フリートウキングの時間がないのは残念である。各地方ともきびしい現状の中でもっと本音を話し合えるブロック会議にしてほしい印象をもちました。

(九州事業支部長 幸重篤典)

東海・名古屋ブロック

日時 昭和58年11月25日(金) 13:30～17:00

場所 名古屋通商産業局2F会議室

出席者 31名((社)日本インテリアデザイナー協会から林が出席)

議事次第

1) あいさつ 名古屋通商産業局商工課次長 大泉氏

2) 昭和58年度デザイン振興等施策の概要について、名古屋通商産業局課長補佐の近藤氏より、デザイン振興行政について、①企業のデザイン開発能力の培養、②消費者のデザイン認識の一層の深化、③デザインを媒体とした国際交流を推進すること、の3点を主軸として進めていること、その他デザインの啓蒙と普及、地方産業に対するデザイン開発指導の現状等について説明があった。

3) 地場産業におけるデザイン開発の課題と題して鈴木庄吾氏の講演が行われた。

地場産業のDesign開発において、その経営者に対して今は全く過去とちがって低成長の時代であることを強く認識して貰う必要がある。例えば一般サラリーマンの手取り収入は47～48年頃、年間5.8%増であった。48～57年は0.9%増という時代であること。

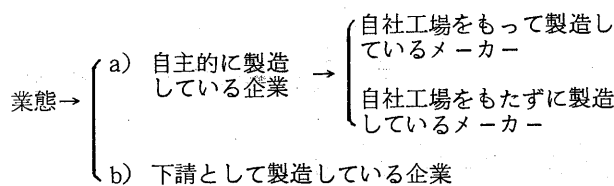
之はビジネス環境が大きく変わったこととなり、消費生活の活力は1%増の位の時代認識が必要であるということ、Design開発も之にともなわなければならないこと、Design開発ではないこと。之が第1の問題点である。

第2の問題点、日本は先進国の中で物をつくっていること、つまり発展途上国の物づくりではないことを認識する必要がある。

先進国の物づくりは、つくり方のマネージメントが違ってくることを認識しなければならない。

この2つの問題をかかえた時、先進国としての地場産業は、

- ① 業態を明確にして開発すること
② 戦略的商品開発の重要性をアピールすること } が必要となる



a) は（企画・開発）（営業、販売）といった面でのDesign開発が大きなテーマであり、b) は（生産、製造）といった面での開発が大きなテーマとなる場合が多い。

先進国としての地場産業のタイプは

②の自主的な製造であって（企画、開発）（営業販売）を大きなテーマとし、工場をもたずに製造してゆくメーカー（サプライヤー）的な面が大きくなり、ここでDesign開発が大きなウェイトをしめるようになる。（そして、製品を自社ブランドで出してゆくこと）

しかし、地場産業の場合、レイ細企業の場合が相当あり、こうした企業に対しては（企画、開発）（営業販売）というSoftの面での近代化、協業化が図られねばならない。→之は第3セクターの様なものを考えることも一方法である。

次に商品開発は戦略的開発（次の主力商品を育てること）と戦術的開発（当面の主力商品の開発）とあるが、今までの経験で戦略的商品開発は20～30%、戦術的商品開発は70%としてゆくようなゆとりを経営者の中にもってほしい。等について話があり有意義な講演であった。

（要約）

4) 日本産業デザイン振興会の事業概要について、岩崎氏よりお話しあり

5) 昭和58年度地方産業デザイン開発推進事業について、岐阜県関市の刃物業界における実施状況、又三重県における鋳物業界の実施状況等について説明がなされた。

以上でもってブロック会議を終了したが、鈴木氏の講演は地場産業のデザイン指導に対して多くの示唆を出席者に与えたようである。

以上

（中部事業支部長 林 寅正）

第1回ショップシステム・コンペティション

（財）店舗システム協会では、コンペティション'84と名付けて、作品を募集している。以下その内容です。

- 作 品 A部門 什器設計案
B " 売り場デザイン・陳列ソフトウェア提案
C " 論文
- 賞 最優秀賞1点 賞金50万円のほか
優 秀 賞2点 奨励賞5点など。それぞれ賞金がつきます。
- 審 査 員 菊竹清順氏など9名による
- 協賛企業 22社
- 応募方法 希望者は59.1.31までに下記事務局まで、官製ハガキで応募者名、所属先、連絡先住所及び電話番号明記の上申込む。折返し登録受付票と募集要項が送られる。
- 応募期間 58.12.1～59.3.1
- 事務局 （財）店舗システム協会

『第1回ショップシステムコンペ』事務局

〒107 東京都港区赤坂2-21-8

第7回大阪産業デザインコンテスト

本年で7年目を迎えた同コンテストも漸く定着して来ました。今回はタオル地の用途開発です。以下その概要です。

- ・課題 タオル地の用途開発デザイン
- ・賞 金賞1点 賞金50万円のほか
銀賞1点 30万円、銅賞2点 10万円など。
- ・審査員 谷川順一氏など13名による。
- ・搬入受付 59.1.19.~21(10:00 ~ 4:00 PM)
郵送は1.19消印有効
- ・発表予定 59.2.10
- ・応募申込・搬入及び問合せ先

(財)大阪デザインセンター業務部

〒541 大阪市東区船場中央2-2

船場センタービル4号館2階

電話 06-262-5661 (代)

資格試験は3月18日に

ーインテリアコーディネーターー

J I D も特別会員として加入している(社)インテリア産業協会では標題の件について対応を進めて来た。12月12日付の関連記事を日本経済新聞から転載します。

消費者に対してインテリアの商品選択や総合的な構成について助言、提案を行うインテリアコーディネーターの資格認定制度が来年春に始まる。試験の実施主体となるインテリア産業協会(会長岡田徳太郎氏)はこのほど第1回の

資格試験の実施要領をまとめ、通産省から試験の実施主体としての認定を待って近く正式に発表する。

同協会によると、1次試験は3月18日、2次試験は4月22日、それぞれ東京と大阪で行われる。1次は選択式の筆記試験で、2次の受験者をしぼり込む。「足切り」として使う。2次は論文、面接、簡単な実技などで、コーディネーターに必要な知識、技能などを総合的に判定する。2次試験の合格者はインテリア産業協会に登録し、早ければ6月にも同協会の資格を持つインテリアコーディネーターの第1期生が誕生する。

インテリアコーディネーターの資格制度は、インテリア産業の発展拡大のためには長期的な人材育成が必要との判断から、通産省が中心になって導入を検討していた。

尚、(社)インテリア産業協会で、下記の参考書を斡旋販売中なのでご紹介します。

① 「インテリアコーディネーターブック」

頒価 2,500円(B5版 351頁)

② 「インテリア計画」

高等学校インテリア科教科書

定価 850円(変形 326頁)

送料 1冊250円 2冊以上は実費

③ 「インテリア装備」

高等学校インテリア科教科書

定価 790円(変形 322頁)

送料 1冊250円 2冊以上は実費

申込先：(社)インテリア産業協会事務局

〒104 東京都中央区新川1-4-9

トソービル

電話 (03) 552-0806

インテリアデザイナーの国際会議「I.F.I.ハンプルグ会議報告の集い」

ー渉外委員会ー

今年の5月、ハンプルグで開催されたI F I国際会議の報告会をさる11月1日、T O T Oパビリオン会議室で行った。I F I総会には三輪理事長、渥美会員、大野の三名が出席し、I F I教育委員会には島崎理事が出席した。報告

会の前半ではその総会、デザイン会議について渥美会員、教育委員会について島崎理事の報告があった。折しも来日中のI F I新理事Vinick氏(米)が快くこの会に出席して下さり、臨場感あふれる報告会となった。2年後に行わ

れるニーズの会議について話されたが、次回の会議のテーマは「地中海文化がインテリアデザインに与える影響」で会議中に船で地中海沿岸を訪れる計画が進行中だそうである。J I D会員と共にサンドイッチをパクつき後半のスライド会議やハンブルグの街を写したものを一緒に楽しんで下さったが、気さくな氏の人柄になごやかな雰囲気の間となった。

● I F I に当協会が加入して5年目を迎え、I F I の活動



(渉外委員長 大野美代子)



“コンピューター体験セミナー 〔PART I〕”報告

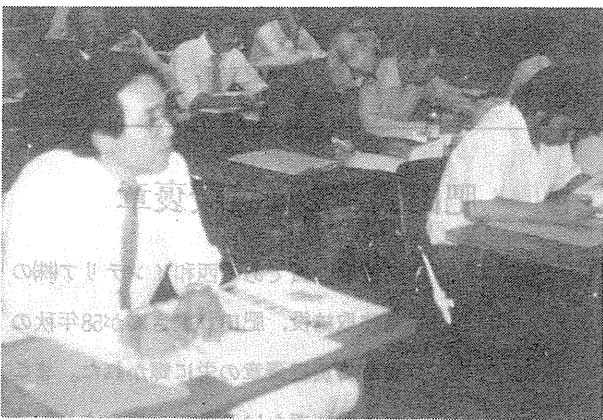
シリーズもので関東事業支部委員会が企画した第一回目のコンピューター体験セミナーが、10月7日(金)、6:00~9:00 PMまで松下電工(株)東京ショールーム及び同会議室で開催された。

先づ、2 F の「システムキッチン相談コーナー」に常設

も教育、実務、情報の分野をとりあげ、充実してきている。現在 J I D 内の各分野とコンタクトをとり始めたが、今後会員の方々と共にどのように I F I を活用していくか、考えて行きたいと思う。なお機関紙98号には、総会・会議について渥美会員の報告が掲載されており、ハンブルグの旅という拙文と共に読みいただければ幸いである。

されている松下電工独自の D A C システムのデモンストレーションを見学する。このシステムは、顧客のニーズに合わせたライフスケッチを、コンピューターを駆使して具体的に図面化するものであり、顧客はイメージしたプランと見積りを、小1時間のうちにその場で手にして見ることが出来るものである。オペレーター嬢の手馴れた操作に、一体どの位の期間で D A C システムを理解し、オペレートすることが出来るようになったのかという点に質問が集中。答えは2週間の特訓で修得したということであった。

続いて、松下電工東京ショールームの主な展示品、即ち、内装材、ドア、階段、窓材、システムファニチャー、住宅設備機器、ソーラーシステム、外装材、及びエクステリア材等々をさんさんご見学させて頂いたあと、9F会議室で、サンドイッチとコーヒーの軽食を取りながら、しばし閑談を楽しんだ。



第2部は、日本情報システム(株) O A事業部の中川販売部長のご挨拶で始まり、建築図面処理システム、ソフトウェアの「まどりくん」のデモンストレーションが、2つのグループに分けられ同じ内容で同時に行われた。このシステムは、日本情報システム(株)が、ベテラン建築士達と協同開発したもので、充実した機能の中に、操作性の簡便さを加味して、建築図面の作成をパーソナルコンピュータで実現させた新しいタイプのソフトウェアということである。オペレーターの説明に、一同喰い入るようにディスプレイ画面を凝視していた。「まどりくん」は、注文建築の平面図作成を30分以内に、そして修正が必要であれば、5分以内で顧客の面前で行い提示するというものである。平面図作成の他、面積計算、拡大、縮小、そして移動等がワンタッチで出来る。オペレーションとしては、指示された部屋の広さから、線、壁、窓、戸、柱、そして表示の文

字など次々とディスプレイに現われるわけで、模様オペレーションなどは、プラントや、屋外の樹木の表示がくるとまたたく間に描き出される。何故かこれが左巻きに描かれ、コンピュータアレルギーの向き(筆者のこと)には、身につまされる思いで見入っていた。プリンターで打ち出された図面はコピー出来るのは言うまでもない。又、プロッターとの連動により施工図面も作成可能ということであった。「まどりくん」のソフトは大きく分けて6段階のジョブから成り立っていて、図面入力、図面検索、マスターファイルプリント、ディスクコピー、データディスクットの初期化、メッセージメカの各ジョブがあり、操作としてはだれにも出来る簡単なものということであった。

第3部は、(株)ソフトウェアリサーチアソシエイツの杉田義明氏によるソフトについてのレクチャーが、8:00~8:45 PMまで行われた。

ソフトの作られかたとしては、要求定義→設計→プログラム→検査→保守→運用→改善、のプロセスがあり、結局、要求定義である WHAT と、設計から保守までを示す HOW の2本立てで考えられ、これがソフトの質を決定するカギとなる。ソフトにはオーダーメードとレディメードの2種類があり、データーによると、コスト面で安価なレディメードの場合は約60%の満足度であるのに比較して、オーダーメードの場合は、ニーズ通りのソフトが得られるので、高価ではあるが、ほぼ100%に近い満足度を得られるということであった。これは、コンピュータで、自らが、何を、どの様に省力化したいかを明確に分析し、認識することから始めるのがよいということを意味するのであろう。

15分程の質疑応答ののち、わたなべひろこ委員長のご挨拶をもって、熱気のこもったセミナーを修了した。今回のセミナーにより当委員会は、会員各位のコンピュータに対する関心度の高さを改めて認識させられており、“コンピュータセミナー〔part II〕”の充実した内容を計画予定である。

尚、今回のセミナー開催に当りましては、松下電工(株)北林統括部長、松下東京ショールーム所長、河上主任の方々には多大のご協力を頂きましたことを厚く御礼申し上げます。又、当委員会の加藤帛子委員を通じ、コンピュータを駆使して建築デザイン活動を行っている矢作彩子会員の

熱心なご援助を頂きましたことを感謝しております。

出席者 33名

(金子記)

レポート・事務機械の中長期見通し

中小企業事業団・中小企業情報センターの定期刊行物「調査ダイジェスト」のNo.588に「事務機械の中長期見通し」が特集された。関連分野の会員には有益だと思いますのでお知らせいたします。ご希望の向きは下記まで。無料です。

中小企業事業団・中小企業情報センター

東京都港区虎の門3-5-1 虎の門37森ビル

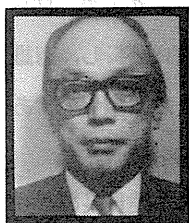
電話 03-433-8811, 内線481

担当 情報センター中山氏

以上は正会員 吉永 淳氏からの情報です。尚、現物(B5版, 16ページ)は一冊、事務局にもありますので、コピーが可能です。

(事務局)

笹子幸治さんを悼む



笹子幸治さんが逝去された。去る9月21日のことである。一昨年の5月、東京晴海の展示会でお元氣な姿に接していたものの、昨年の確か秋口に突然事務局においでになり、「山品さん、

今、リハビリしているのです」と云われた際は、大分声色が以前と違うので、「どうされたのですか」とお聞きしたところ、喉をやられましたとのことでした。見かけの穏やかさより遥かに強靱な性格の持主の笹子さんだけに、自身の多くを語られることはありませんでしたが、闘病中の単調さにはほとんど飽きて、退院してリハビリ中のことがとても嬉しいご容子でした。命拾いをしたから、これからは少しノンビリ、ズーズーしくシブトクやりますよ、とも云われていました。

今年は選挙の年で、推薦文をお寄せいただいたのが、9

月17日だったので、笹子さんご健在と思っておりましたところが、容態急変の、奥様からのお手紙でした。行臥無常を感じ、病魔の非情を恨まずにはいられませんでした。今となっては、心よりご冥福をお祈りするよりほかに何もできないことになりました。どうぞ安らかに眠り下さいませように。合掌

故笹子幸治氏の遺譜

昭和22年早稲田大学卒業後、東京銀座松屋家具部を経て、主婦の友事業株式会社の室内デザイン相談室チーフデザイナー。また、旬多摩室内デザイン取締役を歴任。

J I Dには昭和47年4月に306人目の正会員として入会された。享年55才。

ご家族は 埼玉県川口市青木2-3-25-401 (〒332)

電話 0482-56-8856 笹子智恵子 様

尚、奥様の智恵子さんより協会へお手紙をいただきました。付記します。

(関東支部：山品 元)

肥田武さんに黄綬褒章



賛助会員である西和インテリア㈱の常務取締役、肥田 武さんが58年秋の褒章で黄綬褒章の栄に輝かれた。まことにめでたいことで、衷心よりお慶び申し上げます。関東事業支部の会員

各位はよくご存知のあの、好漢肥田さんです。セミナーや見学会、遊びの集いにも気さくに誰とでもとけ込むあの肥田さんてエライんだなあ、と見直される方も少なくないと思います。集りでもお目に掛る素敵な奥さんと、奥さん似のお嬢さん。肥田さんには今年は本当によい年だったと思います。この調子で、来年もさ来年もその後もずーっと良いことが重なって行くとよいですね。

過日事務局にいただいた肥田さんからのお手紙、ご本人の承諾は得ていませんが、一部抜粋でご披露し、お祝いのしめくりをさせていただきますと思います。

前段省略——さて、私事を自分で申しあげるのは誠に恐縮ですが、今般はからずも秋の国家褒章を拝授することになりました。11月3日に告示され、11月17日皇居で伝達式が行われます。小生の年令(54才)は戦後「黄綬」では

始めてのように聞いております。この仕事一途にやって来た事に誇りを持っていますが、褒章の前渡しを国の方でするから、まだ若いうちにもう少し国や社会、人の為に尽くしなさい、という風に気持ちの上では受け取っております。このような栄誉を賜りました以上、栄誉に恥じないよう、今後とも精進してまいります。何卒よろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

末筆ながら創立25周年記念事業が成功裡に終わりますよう祈念いたしております。—— 58.11.10

(文責：山品)

関連団体の動き

◇ (社)国際家具産業振興会

本会では12月12日より下記に事務所を移転することとなりましたのでご案内申し上げます。

新所在地

東京都港区新橋5丁目25番3号

第2一松ビル6階 〒105

電話は従来通り

◇ 商業施設技術団体連合会

- ・清家清前会長が紫綬褒章を、また村上末吉副会長が黄綬褒章を受章された。

関連業界としてまことにおめでたいことです。JIDAより祝電を打ちました。

- ・従来空席であった事務局長に吉川春興氏が11月1日付で着任された。

◇ 日本インダストリアルデザイナー協会

- ・金子 至理事(JIDA)が藍綬褒章を受章された。おめでとうございます。5団体の一員として祝電を打ちました。

◇ (財)日本産業デザイン振興会

- ・永らく理事長の職にあられた長村貞一氏が10月31日付をもって退任され、顧問に就任されました。後任として石丸忠富氏が11月1日付をもって着任されました。

会員の消息

◇ 富田卓司

富田さんが昭和58年度の大阪府知事表彰の栄に列した。顕彰者は商工関係でデザイン関連は17名。その1人として。

ご存知のように氏は大阪府出身。昭和18年東京美校(現東京芸大)師範科卒業。大阪市立工芸高校を経て、昭和39年現在の富田デザイン研究所を創設。JIDでは昭和46年～54年の9年間関西事業支部長を歴任、協会事業に多大の貢献をされた。特にその間数度に亘るインテリアデザインの関連展をJID主催で行った折の企画、推進、運営等、精力的にご尽力いただき、同時に並々ならぬ指導力には敬服いたしている一人です。顕彰のご披露まで。(川崎 浩)

◇ 浅利弘三

浅利さんが退院された。現在ボツボツ足ならしを兼ねて仕事に戻られた由。4月初めから9月一杯の療養ですから随分辛い毎日だったと思います。秋田の冬は寒く長いので、今冬は十分アフターケアに努めて下さい。

(山)

◇ 野口 茂

去る11月7日、大阪国際デザインフェスティバルで久しぶりに中村、白石、渡辺その他東京の会員の方々とお会い出来ました。東京へは、通産Gマークの審査で10.14～10.19に訪れました。

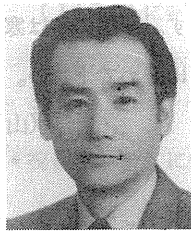
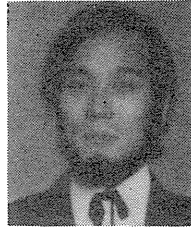
◇ 喜多俊之

12月3日(出～14日(休)、西武ハビタ、池袋館にてファンクション・プロダクト展を開催いたしました。

◇ 上田幸正

今年3月に祖母、10月に祖父が他界いたしましたため新年のご挨拶を申し上げるべきところ喪中につきご遠慮させていただきます。

新入会員の紹介

うさみ れい こ 宇佐美 伶子 (会員番号 536) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	邑建設㈱インテリア企画部 東京都武蔵野市西久保3-18-14 〒180 0422-54-8780 内線 5 東京都武蔵野市西久保3-18-14 〒180 0422-54-8780 内線 6~7 福 田 友 美 ・ 森 谷 延 周
きた いち のぶ お 北 市 信 雄 (会員番号 537) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	北市インテリア研究所 所長 石川県金沢市高岡町4-8 〒920 0762-65-5670 石川県金沢市昌永町2-14 〒920 0762-52-1692 小 松 曉 一 ・ 石 田 忠 昭
さい とり よし お 斉 藤 義 男 (会員番号 538) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	㈱金沢ハウジング 石川県金沢市増泉1丁目19-34 〒921 0762-47-1110 石川県金沢市三口新町2-9-18 〒920 0762-63-2654 小 松 曉 一 ・ 石 田 忠 昭
むら かみ あき ひこ 村 上 章 彦 (会員番号 539) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	村上建築設計研究所 石川県金沢市神谷内町チ200-7 〒920 0762-52-2921 石川県金沢市神谷内町チ200-7 〒920 0762-52-2921 小 松 曉 一 ・ 石 田 忠 昭
た な か まさ あき 田 中 政 明 (会員番号 540) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	タナカデザイン事務所 神奈川県鎌倉市腰越1-16-6 〒248 0467-31-1553 神奈川県鎌倉市腰越1-16-6 〒248 0467-31-1553 中 田 重 克 ・ 尾 関 文 夫

いけ がみ とし ろう 池 上 俊 郎 (会員番号 541)	<勤務先・事務所>	池上俊郎建築事務所 大阪市東区横堀 3 - 27 中村ビル 3F 〒541 06-204-0762
	<自 宅>	箕面市箕面 7 - 1 - 17 E - 2 〒562 0727-24-2204
ひら かみ た か こ 村 上 太 佳 子 (会員番号 542)	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	アトリエ トリフォイル 大阪市北区天満 3 - 1 - 1 玉置ビル 〒530 06-351-8920 大阪市福島区玉川 2 - 3 - 16 - C - 1428 〒553 06-444-5412 佐々木 恵 子 ・ 川 崎 浩

準 会 員

あ と う ま み こ 阿 藤 真 美 子 (会員番号 B-151)	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) ユニ・デザインハウス 東京都目黒区青葉台 3 - 1 - 18 〒153 03-461-5387 東京都中野区上高田 4 - 35 - 13 〒164 03-386-5094 島 崎 信
--	---	--

賛 助 会 員

(株) ヤシマ製作所	住 所 担 当 紹 介 者	東京都中野区弥生町 1 - 53 - 7 〒164 03-372-1211 代表取締役 白 川 竣一郎 海老沢 宏
福 山 建 設 (株)	住 所 担 当 紹 介 者	大阪市北区天神橋 3 - 8 - 6 〒530 06-353-0770 内線 65 設計課 係長 松 岡 孝 将 福 岡 喜久雄
日 本 ヒューガ・ カーペット (株)	住 所 担 当 紹 介 者	東京都港区西麻布 1 - 2 - 7 第17興和ビル 〒106 03-402-4191 営業次長 鈴 木 健 式 海老沢 宏

会員の移動

正 会 員

会 員 名	移 動 事 項	新
種 田 亜 男 (関 東) P 82	自 宅	札幌市東区北 23 条東 20 丁目 2 - 11
井 上 喬 子 (関 西) P 129	自 宅	兵庫県西宮市苦楽園 1 番町 1 - 28 ハイッ苦楽園 B 502 〒 662 0798-73-6735
高 田 紀久枝 (関 東) P 77	勤 務 先	フリー
榎 田 均 (関 東) P 44	勤 務 先	コスガインテリアデザイン研究所 副所長 東京都中央区東日本橋 2 - 15 - 4 〒 103 03-862-6711
小 林 敬一郎 (関 西) 新入会員	自 宅	大阪府吹田市円山町 8 番 6 号 〒 564 06-386-1260
藤 村 盛 造 (関 東) P 96	自 宅	千葉県浦安市入船 39 - 1 5 - 1006 〒 272-01 0473-53-3518
志 波 茂 (関 東) P 72	自 宅	神奈川県川崎市宮前区宮崎 5 - 8 - 1 第 2 柳荘 C 〒 213

賛 助 会 員

ミサワホーム(株) P 237	担 当 者 部 所	住設事業部 インテリア開発グループ
(株) 日 建 設 計 P 231	担 当 者	インテリア部 部長 中小路 泰 久
(株) コ ス ガ P 220	担 当 者	コスガインテリアデザイン研究所 副所長 榎 田 均

'84年版手帳出版案内

ご希望の方は下記へ直接申込んで下さい。

体裁／A 6 ・変形・ポケット版

天地 14.6cm × 左右 9.5cm

価格／1 冊 700 円

・送料、梱包費は別途料金

納期／12月上旬

従来より建具日記帳・工務店手帳・家具日記帳として親しまれて来た専門家向け手帳が本年も「'84年版手帳」として面目を一新しました。建築・住宅業界に関する資料をはじめ豊富な内容です。J I D 会員の割引がありますから、

特徴／☆ポケット版ですから携帯に便利

関 西 総 局 大阪市北区西天満 5-8-8

☆月計画メモのほか日記帳部分には、1週間を

高橋ビル富田町別館

2ページ使っており書き込むスペースも広く

電話 大阪 (06) 362-7685 番(代表)

整理にも便利

名古屋支局 名古屋市中区大須 4-2-40 東泉ビル

☆関係資料も64ページ余りあり、日常業務の

電話 名古屋 (052) 241-6774 番(代表)

アシスタント、小事典に活用できる。

北海道連絡所 札幌市北区北34条西3丁目 家研ビル

掲載資料／・いずれも業界の有力資料の付録つき。

電話 札幌 (011) 753-0117 番

申し込み先：日本木工新聞社・新建材新聞社

尚、東京本社にお申込みの場合 (03-945-4811)

本 社 東京都文京区本駒込 6丁目15番 7号

林さんに J I D 会員であることを告げて下さい。定価の10

木工会館

%引になります。

電話 東京 (03) 945-4811 番(代表)

(事務局)

寄贈図書

・三宅正郎	名簿等 14冊 1959 ~ 1976年	10/26	
・日本写真家協会	名簿	10/31	
・IFI ICOGRADA ICSID	世界デザイン教育機関索引	11/1	
・(社)インテリア産業協会	インテリアコーディネーターブック	11/4	
・(社)京都国際工芸センター	SERGIO ASTI	11/9	
・(財)日本交通文化協会	PUBLIC SPACE	11/28	
・東京グラフィックデザイナーズクラブ	83 TGC展作品集 テーマ = 接点 (人間とサイエンス)	12/13	

会 議

		(11月)	18日 役員選挙開票(選挙管理委員会)
		1日 IFI ハンブルグ会議報告会	22日 25周年記念展パーティー
		(渉外委員会)	26日 講演会(九州事業支部)
(10月)	12日 出版特別委員会	2日 出版特別委員会	(12月)
	" 25周年展実行委員会	4日 第4回理事会	2日 W.G.
15日 渉外委員会	7日 25周年展 展示グループ委員会	7日 広報委員会	
19日 25周年展第一ゾーン分科会	8日 W.G.委員会	9日 W.G.	
21日 " " 実行委員会	9日 25周年展 第一ゾーン委員会	12日 W.G.	
25日 W.G.什器備品委員会	" " " 合同委員会	13日 出版特別委員会	
26日 出版特別委員会	" 出版特別委員会	16日 W.G.全体会議	
" 25周年展第一ゾーン委員会	12日 25周年展 展示グループ委員会	[予定] 20日 W.G.チーフ会議	
27日 総務委員会	15日 " " 第一ゾーン委員会	21日 情報活動検討委員会	
28日 25周年展財務委員会	17日 " " " "	22日 第4回理事会	

事務局短信

- ① あちこちで雪の便りが聞かれ、いよいよ本格的冬の到来のようです。
- ② 25周年記念展も終り、事務局も平常運転に近づいてまいりました。会員の皆様のご協力ありがとうございました。
- ③ 「協会賞」の推薦の時期がまいりました。
用紙はこのニュースと前後して発送の予定です。会員各位の積極的なご推薦をお願いいたします。
- ④ お願い。会費未納の方、年末も迫りました。至急納入

のアクションをお願い致します。

- ⑤ 恒例のJID新春交礼会の日程が決まりました。
1月27日(金)、新宿NSビル30階、「折づる亭」での夜景をお楽しみに、多数の方々のご参加をお待ちしています。
- ⑥ 事務局の年末年始は次の通りです。ご不自由をおかけいたしますが、ご協力の程お願いいたします。
- ┌ 年内事務：12月27日(火)まで
 └ (12月24日(土)は開局します)
 ┌ 新年事務：1月5日(木)より(1月5日は正午まで)
 └ (事務局)

JID 賛助会員ディレクトリー (抜粋)

(株) 天 童 木 工 東京支店：東京都港区浜松町1-19-2 〒105 (03) 432-0401 桜井久喜(技術部商品開発課課長)	ト ー ソ ー (株) 東京都中央区新川1-4-9 〒104 (03) 552-1218 大槻秀人(専務取締役営業本部長)
東 京 シ ン コ ー ル (株) 東京都荒川区東日暮里4-12-1 〒116 (03) 802-3211 中根 修(企画部デザイン室室長)	常 盤 レ ザ ー 工 業 (株) 東京営業所：東京都品川区東品川3-18-11 〒140 (03) 450-1157 石坂昌之(常務取締役)
東京デザイナー学院名古屋校 事務局：愛知県名古屋市中区栄4-1-1 〒460 中日ビル7F (052) 262-0766 富田光政(事務長)	(株) ト ミ タ 東京都中央区京橋2-3-16 〒104 (03) 273-7551 富田順三(営業部課長)
東 陶 機 器 (株) 東京都港区虎ノ門1-1-28 〒105 (03) 595-9753 小林一郎(工業デザイン課課長)	(株) ニ チ ベ イ 東京都中央区日本橋3-15-4 〒103 (03) 272-2011 内線420 金坂嗣堯(総務部企画課次長)

JID NEWS 1983/11・12 (日本インテリアデザイナー協会月報1983年通巻第125号)

毎月1回発行 頒価 300円(送料とも) 編集・社団法人 日本インテリアデザイナー協会総務委員会

昭和58年12月25日発行 山口勇次郎・西沢圭三・竹森聖子・中村圭介・

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会 合田正甫・大和宏・平井美蔓・佐戸川清・塩田一夫

・高木敦子・安藤孚・山品元・新川佐知子・

柏原秀夫(関西)・溝口新(九州)・田村悠(中部)

印刷所・広洋印刷株式会社

振 替・東京8-76389